

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リハビリ発達支援ルームUTキッズplus		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 4日		2025年 1月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 4日		2025年 1月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 22日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様一人ひとりに寄り添った支援の提供	計画書作成会議ならびにケース会議などを通じて、お子様や保護者様のニーズを踏まえた計画作成や療育の提供を行っています。お子様が能動的に活動し、「できた！」を積み重ねることができる療育の提供を行っています。	計画書作成会議ならびにケース会議時に動画を使うなどお子様の現状を捉え、より細やかな支援の実施を図ります。
2	多職種連携での支援	OT,ST,保育士が個別計画書を基にそれぞれの視点や強みを活かした療育の提供しています。	社内外での研修参加でスキルアップを図り、療育の質向上の努めます。
3	個別療育と集団療育の実施	必要に応じて支援の内容が選択できるよう個別療育と集団療育を実施しています。	集団療育では、参加されるお子様に合わせて、療育メニューを見直すなど今よりも柔軟な対応を行っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者様がスムーズに支援を受けいただける体制づくり	利用のご希望を伺った際、待機待ちになることが多く、すぐに利用開始していただけない状態です。	空き枠の提示を行うなど少しでも早く利用して頂けるよう利用枠の整理を行っていきます。 人員確保による支援枠の拡大を目指します。
2	コミュニケーション面の強化 ・保護者様と指導員 ・保護者様同士	今年度は、研修会や勉強会の回数が少なく、保護者様とのかわりが療育毎のフィードバックとご要望があった際の家族支援加算のみとなり関わりが少ない状況です。	勉強会、研修会を定期開催することで、関わり場の設定できるようにしていきます。
3	事業所の取り組み等の活動発信	自己評価やイベント等の配信は随時行っていますが配信できていない取り組みも多くあります。	配信する項目を決め、事業所の取り組みや活動の詳細が配信ができるよう取り組み、情報開示ができる施設運営に努めます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	リハビリ発達支援ルームUTキッズplus					公表日	2025年	3月	15日		
						利用児童数	2025年	1月	4日	回収数 15	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	0	0	0	いつも清潔にされていて安全安心です。 ありがとうございます。	感覚統合で十分に身体を動かすために適し			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	1	0	1	いつも色々な視点からのご意見参考になります。 皆さん保護者にも子供にもいつも笑顔で親切です。 安心して通えます。1人に付く先生が2人と聞いていたが、1人しか付いていないときもあるようです。 適切な人数が何人なのか、そして実際に何人配置されているのか全くわかりません。	契約時にご説明させていただいておりま す通り、重要事項説明書にて事業所の配 置人数を記載しております。 また、お子様一名につき、指導員一名の 個別療育を提供しております。 初回のみ指導員が複数で入らせていただ くことがあります。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	3	0	1	階段、自動扉があり先生から療育後の話を聞いている間に子どもが先に階段を降りてしまっていつも不安があります。 活動場所の環境はいいが、建物自体にエレベーターがなく、階段も急なのがバリアフリーには適していないと思います。	お子様も待合室で待っていただけるよう 指導員の対応も徹底させていただきます。 建物の構造上エレベーターの設置が難しく、車いすや足が不自由な方にはご不便をおかけしております。療育室までの移動に関しましては保護者様同意の下、指導員が介助させていただき、移動が少しでもスムーズになっていただけるよう工夫をしています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	0	0	0					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1	0	0	こども園で取り組んでいることを伝えるとすぐにその日の療育に取り入れてくれます。	お子様の特性やニーズを把握する為、会議を行い、職員間での共通理解をしたうえで、支援を提供しております。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	0	0	1					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	0	0	0	特性に応じた明確な目標などを一緒に考えてくださったり、これからどんな風に変わっていかたいかへの計画を作成して下さり、わかりやすく説明して下さりました。	計画書作成会議を行い、お子様と保護者様のニーズや課題を話し合って個別支援計画書を作成させていただいております。			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	0	0	0					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	0	0	0					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	0	0	0					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	0	2	4					
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	0	0	0					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	0	0	0					

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	1	1	3	もう少し回数を増やしてほしいです。	保護者様のニーズにお応えできるよう回数を増やしていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	12	1	0	0	保護者とのコミュニケーションが苦手な職員が2人ほど思い浮かびます。失礼があるわけではないので嫌な気持ちになっている訳ではないが、母子分離での療育なので、療育の様子が伝わり辛いのはもったいないと感じる。また、子どもの様子をさらに深く伝えて欲しい。伸びている部分や褒める部分だけでなく、ありのままのこれからの課題の部分や、家庭でも伸ばしていただける部分があれば、さらに伝えてくれると嬉しいです。いつもありがとうございます。	フィードバックに対するスタッフ研修を強化していき、頑張ったことや、今後、伸ばしていける部分を分かりやすく伝え出来る様に心がけていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	4	4		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	0	0	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	1	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7	1	0	5	自己評価は開示されているが、それ以外に関しては定期的に発信されていない。	集団療育の方には活動概要や行事予定表等や配布させて頂いておりますが、個別療育の方にはそれらのご案内が出来ておりません。イベント案内を適宜貼り出させて頂いております。その他Instagramでも活動報告を行っておりますが機会を増やしていきたいと思えます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	1	0	0		
	非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1	0	3	全てが十分に周知されているとは言い難い。また全ての訓練が実施されているか不明(一部はしたことが報告されていたように思う)
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	0	0	3		
25		事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	1	0	3	行われていると信じているがそれを保証するものはない。(待合室から中の様子を見れる監視カメラの設置など)	怪我の無いよう、設備や遊具のチェックを毎月行っております。虐待研修や、毎日の身体拘束確認等を行い、お子様が安全に過ごせる体制づくりを行っております。監視カメラの設定の検討を行います。事前にお声掛けをいただくことで療育室に入室も可能となっております。
26		事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	1	0	3	発生したことがないのでわからないです。	事故が起こらないよう支援の提供を行うと共に適切な対応に努めます。
27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13	0	0	0			

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13	0	0	0	最初の2年は行きたくないと言う日もありましたが近頃は行く!!口と楽しそうにしています。	お子様が楽しめるプログラムを提供することで主体的に活動出来る機会をこれからも作っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	0	0	1		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
リハビリ発達支援ルームUTキッズplus		2025年 3月 15日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	3	法律に則った人員配置をしていますが、現場からの体感では少なく感じるように思うことがあります。	法律に則った人員配置をしています。人員が増えることでより多くの人に支援が行えるように人員確保に努めます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	建物の構造上バリアフリー化が難しくなっております。建物の構造上、エレベーターは設置できていません。必要に応じて別室での療育に変更する等、対応させて頂いております。	建物の構造上エレベーターの設置が難しく、車いすや足が不自由な方にはご不便をおかけしております。療育室までの移動に関しましては保護者様同意の下、指導員が介助させていただき、少しでもスムーズに移動して頂けるよう工夫をしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2	ジョイントマットが劣化しているため、直ちに交換してほしいです。9年目となるので劣化が見られる所もあります。	劣化を認めため、新しいジョイントマットに交換しております。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	研修はありますが時間が業務外となっているため参加が難しい事があります。	時間内に研修を出来る機会を作っていきます。
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	ケース会議を実施しております。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	個々に応じたツールを使用しております。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0		

支 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	緊急性のあること等は、その都度職員間で共有しています。それ以外は日々記録等で共有しています。	個別療育となるためそれぞれのスタッフが支援内容を立案し、提供を行っています。必要に応じて引継ぎや必要に応じた情報共有を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	極力すぐに打ち合わせをしたいが、療育との間の時間ができていないので別日など時間が空いた時にすることがあります。 緊急性のあること等は、その都度職員間で共有しています。それ以外は日々記録等で共有しています。	主に日々記録などで情報共有を行っているためそれを上手く活用した情報伝達や共通理解ができるよう会議を行い書式を決定してくなど対策を講じていきたいと思っています。また、引き続き必要に応じて引継ぎや情報共有を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			今年度はございません。ご希望があった際には情報共有と相互理解を図れるよう努めます。	今年度はございません。ご希望があった際には情報共有と相互理解を図れるよう努めます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	3	わかりません。	児童発達支援センターとの連携は行っておりませんが、地域のほかのお子様と関わる機会を毎年設けております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	3	わかりません。	現在のところ交流する機会を設けておりません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	保護者勉強会の機会が少なかったです。	今年度は保護者勉強会の機会が少なく、参加していただける枠が限定的であった為、今後は定期開催できるよう検討いたします。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0			

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	8	わかりません。	現在のところ交流する機会は設けておりません。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3		事業所としては、現在取り組みは行っていません。 会社全体としては、UTフェスを開催し地域交流の場を提供しています。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	3	イベント時は、毎回保護者様へのアレルギー確認をしています。 療育では食事の提供は行っていません。イベント時に食べる場合には保護者様にアレルギーの確認を必ず行っております。	現在、食事提供は行っていませんが、イベント等で食事を提供する際は、毎時確認と対応ができるよう取り組みます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	わかりません。	今後も毎月の遊具安全確認や必要に応じた研修や訓練を行い、安心・安全な環境で療育を実施していきます。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	わかりません。	マニュアル等の作成はしておりますが、詳細は保護者様に公開出来ておりませんので、周知できるよう待合等にマニュアルの設置を行ってまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	1	計画書には記載しておりませんが、契約書に記載させていただいております。	現在身体拘束を必要とする利用児様がおられないため、計画書記入はしていません。必要に応じて計画書作成時に記入を行ってまいります。